

会 長 運 営 方 針



会 長 加 藤 博 基

【会長テーマ】 誇 り と 責 任

私たち広島西ロータリークラブは、1970年3月7日に創立いたしました。以来、様々な時代背景の中にあってもロータリーの志は連綿と受け継がれ、2025年には55周年を迎えることができました。当クラブは例会出席に代表されるクラブ奉仕や、会員相互の親睦活動等も大変充実し、バランスの取れたクラブであることは自他共に認めるところであり、会員全員が誇りに思うところです。例年のガバナー公式訪問においても、ガバナーより身に余るお褒めの言葉をいただきます。これも、当クラブの基礎を作り支えてこられた諸先輩方のお陰と、心より感謝の意を表します。

2026年7月1日現在の会員数は93名（2025年7月1日は92名）です。会員数が90名を超えたのは、2004-2005年以来実に20年振りです。近年会員数は増加傾向ですが、ややもすると同世代間だけでの交流になりがちです。先述したように、55年の歴史と伝統を受け継ぐには諸先輩との対話が大変重要です。違う世代であれば意見の相違はあって当然ですが、その中でもお互いを認め合い尊重しながら、意見交換をすることは大変意義深いと考えます。また会員の平均年齢は64歳とまさに私の前後世代がクラブの中心的世代です。そこで、私たちの世代や在籍10年前後の会員が、世代間の接着剤となって当クラブの結束を更に強めていきたいと思います。そして、会員同士のコミュニケーションを取りながら、私も含め全会員が与えられた役職に誇りを持ち、生き生きと楽しんで活動し、責任を果たしていきたいと思います。

またロータリーは単年度制のため、毎年執行部が変わることによってクラブのマンネリズムを防ぎ、新たな奉仕活動を生み出しています。しかしながら、クラブとして一度関わった事業には誇りと責任を持たなければなりません。例えば、地区の事業として当クラブが実行した平和記念公園内、平和の池の多言語説明板。老朽化がみられ55周年事業としてリニューアルいたしました。平和の大切さを伝えたいという強い思いは、設置当時の会員のみならず現在の会員にも繋がっています。その他のこれまでの事業を振り返り、当クラブが関わっていかねばならない事業があれば積極的に検討したいと考えています。

まずは私自身から、会長としての誇りを持ち責任を果たしたいと思います。是非とも会員皆様のご協力、ご支援を賜ります様よろしくお願いいたします。